

## 事業の背景・目的

市内には多数の谷戸や湧水が存在し、豊かな自然環境を形成していることから、様々な種類の動植物の生息・生育場所となっている。ところが、アライグマ等によってトウキョウサンショウウオが捕食されるなど、在来種への影響が深刻化している。植物についても、オオキンケイギク、アレチウリなどの分布拡大が問題となっている。このことから、都内屈指の多様性を誇る生態系のバランスを維持するため、外来種対策を推進している。

## 事業の内容

### 事業① 防除事業

市民からのアライグマによる被害相談、目撃情報をもとに駆除を行い、分布状況等について可視化するため、GISの改修により駆除実績をマップ化した。

### 事業② 生息状況調査事業

過年度調査地点の継続調査に加え、初年度に得られた情報や専門家、生き物情報に精通した市民等の意見を伺いながら、一部調査地点を修正・追加した。

### 事業③ 普及啓発事業

広報紙、ホームページ、ケーブルテレビによる周知の他、環境啓発冊子に記事を掲載し小中学校等に配布した。

## 得られた成果

防除事業：46件の駆除作業を実施し、40頭のアライグマを捕獲した。

生息状況調査事業：センサーカメラと捕獲器設置により生息の有無を確認し、5頭のアライグマを捕獲した。特別緑地保全地区では外来植物等の同定・駆除を行った。

今後も捕獲実績を積み上げ、調査も継続するとともに、専門家の指導・助言を仰ぎながら効果的な防除を検証することで、生態系への影響や被害を最小限に抑えていく。また、捕獲地点のマップを活用し、市民に情報提供する仕組みを整備していく。